

# 中央銀行が決定する金融政策とは？

東京海上アセットマネジメント株式会社

## 今回のテーマ

各国・地域の中央銀行は、物価の安定や経済の成長を実現するために、金融政策の方針を決める役割を担っています。

金融政策の主な手段には、「政策金利」の決定などがあります。政策金利は、銀行の貸出金利や預金金利のベースとなる重要な指標です。

## 今回のポイント

- ✓ 金融政策の方向性は世界の金融市場のトレンドに影響を与える重要な要素であり、金融政策決定会合は市場参加者の注目度が非常に高い。

## 日本、米国、欧州(ユーロ圏)の中央銀行と政策金利

|                          | 日本                  | 米国                           | 欧州(ユーロ圏)        |
|--------------------------|---------------------|------------------------------|-----------------|
| 中央銀行の名称                  | 日本銀行                | FRB<br>(連邦準備制度理事会)           | ECB<br>(欧州中央銀行) |
| 金融政策決定会合の名称<br>(年間開催数*1) | 日銀金融政策決定会合<br>(年8回) | FOMC<br>(連邦公開市場委員会)<br>(年8回) | ECB理事会<br>(年8回) |
| 政策金利                     | 無担保コール<br>翌日物誘導目標   | FF金利*2誘導目標                   | 預金ファシリティ金利*3    |

## (ご参考)金融政策決定会合のスケジュール(2025年後半)

|      | 7月    | 8月 | 9月    | 10月   | 11月 | 12月   |
|------|-------|----|-------|-------|-----|-------|
| 日本銀行 | 30-31 |    | 18-19 | 29-30 |     | 18-19 |
| FRB  | 29-30 |    | 16-17 | 28-29 |     | 9-10  |
| ECB  | 23-24 |    | 10-11 | 29-30 |     | 17-18 |

出所:日本銀行、FRB、ECB

\*1 経済環境や金融市場の急変などには、定期的な会合に加えて、臨時会合が開催される場合があります。

\*2 FF(フェデラルファンド)金利:米国の銀行間金利の一つ。主に銀行が他の金融機関から無担保で借り入れる際の金利。

\*3 ECBの政策金利には主要リファイナンス金利、限界貸付ファシリティ金利、預金ファシリティ金利の3つが設定されていますが、当資料作成日時点において、ユーロ圏における実質的な政策金利として機能している預金ファシリティ金利(銀行が欧州中央銀行に預けた資金に付利される金利)を主たる政策金利として記載しています。

※上記は当資料作成時点の情報であり、将来予告なく変更となる場合があります。

## 投資信託にかかるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等値動きのある証券に投資をしますので、これら組み入れ資産の価格下落等や外国証券に投資する場合には為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資信託は、**預貯金や保険と異なります**。また、**投資元本が保証されているものではなく**、基準価額の下落により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります**。個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

## 投資信託にかかる費用について

- 購入時に直接ご負担いただく費用 … 購入時手数料 **上限3.3%(税込)**
- 換金時に直接ご負担いただく費用 … 信託財産留保額 **上限0.5%**
- 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 … 信託報酬 **上限 年率1.903%(税込)**  
※ファンド・オブ・ファンズでは、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。
- その他の費用・手数料…監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用等をファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計金額については、お客さまの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

### <ご注意>

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、東京海上アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。費用の詳細につきましては、個別の投資信託毎の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。投資信託にかかるリスクや費用は、投資信託毎に異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご確認ください。

### 【一般的な留意事項】

- 当資料は、情報提供を目的として東京海上アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

### 東京海上アセットマネジメント株式会社

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

サービスデスク 0120-712-016 (受付時間:営業日の9:00~17:00)

商号等: 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会